DREC 200

取扱説明書

お買い上げいただき、ありがとうございます。
本機を正しくお使いいただくために、
この「取扱説明書」をよくお読みください。
また、お読みになった後も、必要なときに
すぐご覧になれるよう大切に保管してください。

FUJITSU TEN

■目　次

■ 安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書および製品では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の表示をしています。表示と内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。
⚠ 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容。

⚠ 警告

- **本機は DC12V ⊖アース車専用です。12V 車以外では使用しないでください。**
- **本機を分解したり、改造しないでください。**
  事故、火災、感電の原因となります。
- **電源コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対にしないでください。**
  電源コードの電流容量がオーバーし、火災、感電の原因となります。
- **音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。**
  事故・火災・感電の原因となります。
- **ヒューズを交換するときは、必ず規定容量（アンペア数）のヒューズを使用してください。**
  規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。
- **万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変な匂いがするなどの異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店に相談してください。**
  そのまま使用すると事故、火災、感電の原因となります。
- **運転者は走行中に microSD メモリーカードの抜き差しやスイッチ操作をしないでください。**
  前方不注意となり事故の原因となりますので、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。
- **本機が衝撃を検知するかを確かめるため故意に危険な運転をすることなどは、絶対にしないでください。**
- **機器内部に水や異物を入れないでください。**
  発煙、発火、感電の原因となります。
- **雷が鳴り出したら、本機に触れないでください。**
  落雷により、感電の危険性があります。
- **本機を使用するために、禁止された場所に駐停車しないでください。**
- **microSD メモリーカード挿入口に異物を入れないでください。**
  火災や感電の原因となります。

⚠ 注意

- **本機の取り付け場所変更時は、安全のため必ずお買い上げの販売店に依頼してください。**
  取り外し、取り付けには専門技術が必要です。
- **車検証シールを貼り替えの際は 、カメラの撮影範囲内に車検証シールを貼らないようにしてください。**
- **本機を車載用として以外は使用しないでください。**
  感電や怪我の原因となることがあります。
- **本機は、危険運転の際の状況を記録することが目的です。イタズラその他の目的では、使用しないでください。**
- **本機に、強い力やショックを与えることはしないでください。**
  火災、故障のおそれがあります。
- **夏場などに長時間、直射日光が当たった場合は、素手で触らないでください。**
  直射日光が当たった場合などは、高温になり、火傷をする可能性があります。
- **microSD メモリーカード挿入口に手や指を入れないでください。**
  けがの原因となることがあります。
- **フロントガラスのお手入れの際は、本機およびコードを強く引っ張らないでください。**
  本機がはずれるおそれがあります。
  (はずれた場合は、お買い上げの販売店へご相談ください。)
- **クリーナーなどのスプレーや水分等を本機にかけないでください。**
  両面テープが剥がれ本体が脱落するおそれがあります。

本機について〔必ずお読みください〕

● 本機は常時記録型の映像を記録する装置ですが、全ての状況において映像を記録することを保証したものではありません。映像を 15 件（衝撃検知：10 件／スイッチ操作 5 件）まで保護できますが、全ての状況において映像を保護できることを保証したものではありません。**以下の場合などは、映像の記録ができないことがあります。**

① 本機に microSD メモリーカードを挿入していない場合
② 本機から microSD メモリーカードを抜いた場合
③ 本機に付属または当社別売の microSD メモリーカード以外を使用した場合
④ 記録した古い映像が、新しい記録によって消されて（上書きされて）しまった場合
⑤ 大きな事故や水没などで本機および microSD メモリーカードが損傷を受けた場合
⑥ 大きな事故の場合などでバッテリーと本機間の電源コードが断線した場合、または、バッテリーが損傷を受けた場合

以下の場合などは、衝撃の検知による映像の保護ができないことがあります。

⑦ 低速で衝突、または、相手車両との相対速度が小さい状態で衝突した場合
⑧ 自車両、相手車両の衝撃緩和箇所に衝突した場合
※ ⑦ ⑧バンパー、ドア、タイヤボックス等で衝撃が緩和されるので、見た目より衝撃が発生しないことがあります。
エアバッグが開かないような低衝撃の事故は検知できない場合があります。
⑨ 自車両に対して相手車両が軽い、または、相手が人や自転車等の場合
⑩ 相手車両の側面をこするように衝突した場合
※ ⑨⑩相手車両が軽かったり（自動車対人、自動車対自転車等）、相手車両が回転すると、衝突時の衝撃が受け流され、自車両への反発の衝撃が小さくなります。
⑪ 雪道や凍結路で急ブレーキをかけた場合
※ 雪道や凍結路では、タイヤと路面との摩擦が少なく、小さい衝撃でもスリップしますので、G センサーでの検知が困難になります。
⑫ 衝撃が弱く、本機が検知するように設定されたセンサー感度に満たない場合
⑬ 本機の本体が固定されていなかったり、取付後のオフセット設定が行われていないなど、本機の取付状態に問題がある場合

● 映像が記録されなかった場合や記録された映像ファイルが破損していた場合による損害、本機の故障や本機を使用することによって生じた損害については、弊社は一切責任を負いません。

● 本機は、事故の検証に役立つことも目的の一つとした製品ですが、証拠としての効力を保証するものではありません。

● 本機で記録した映像は、その使用目的や使用方法によっては、被写体のプライバシーなどの権利を侵害する場合がありますのでご注意ください。また、本機をイタズラなどの目的では使用しないでください。これらの場合については弊社は一切責任を負いません。

- 本機は映像を記録する装置ですが、必ずしも信号機が確認できることを保証した装置ではありません。環境によって信号機が確認できない場合は、前後の映像や周辺の車両の状況から判断願います。信号機が確認できない件については、弊社は一切責任を負いません。
- 本機が起動中（LED が点灯もしくは点滅中）に microSD メモリーカードを抜かないでください。microSD メモリーカードが破損し、映像を記録できなくなるおそれがあります。microSD メモリーカードの破損による映像が記録できない件について、弊社は一切責任を負いません。
- 本機は常時記録型の映像記録装置です。microSD メモリーカードの記録が一杯になると古い映像から消して新しい映像を記録（上書き）します。また、衝撃を検知した映像 10 件、スイッチ操作を検知した映像 5 件まで保護する機能がありますが、それぞれの件数を超えた場合は、古い映像から保護を解除して新しい映像を保護します。事故などでデータが必要な場合は、速やかに車両のエンジンキーをオフにし、microSD メモリーカードを抜いてパソコンに保存するなどの対応をお願いします。
- 記録した映像を残しておきたい場合は、パソコンのハードディスクにコピーしておくなどの対応をお願いします。
- LED 式信号機は目に見えない速さで点滅しているため、本機で撮影すると、点滅して撮影される場合があります。信号が映っていない場合は前後の映像や周辺の車両の状況から判断願います。LED 式信号機が映らない件については弊社は一切責任を負いません。
- 車両のバッテリーを外すと、GPS の情報を受信した次回起動時から正しい時刻になりますので、バッテリーから外した後は、記録されている映像のファイル名や位置情報で GPS 情報が受信できたかどうかを確認してください。
- microSD メモリーカードを抜く場合はエンジンオフ（ACC オフ）後、LED が消灯していることを確認してから抜いてください。
- 本機で記録した映像を専用ビューアーソフトで見るために、次ページのスペックを満たすパソコンが必要です。また、カードリーダーは含まれていませんので、ご使用のパソコンに接続可能なカードリーダーを別途ご購入願います。

パソコンの必要条件	
OS	Windows 7 日本語版 32 ビット版、64 ビット版 [*1] Windows 8、Windows 8.1 [*2] 日本語版 32 ビット版、64 ビット版 [*1]
CPU	2GHz 以上のプロセッサー／ Core i3 以上の CPU[*3]
メモリ	2GB 以上の RAM（4GB 以上推奨）[*3]
ディスプレイ	1,024 × 768（XGA）ピクセル以上、High Color(16 ビット) 以上
サウンド	Windows で使用可能な PCM サウンド再生機能
その他	Internet Explorer 9.0 以降 カードリーダーなどで microSD メモリーカードにアクセスできること インターネット接続環境（走行位置を表示するために必要です）

＊ 1 上記 OS 以外のバージョンの OS 上で起動させた場合、アプリケーションの動作は保証されません。
＊ 2 タブレット PC を始めとするタッチ操作に対応しています。
＊ 3 Windows 7、Windows 8、Windows 8.1 については、Microsoft 社の推奨システム要件が必要です。

● ご使用のパソコンによっては、再生時に映像が乱れたり音声が途切れたりする場合があります。その際は、ビューアーソフトを終了させ、再度ビューアーソフトを起動して映像を再生してください。

● Windows 7、Windows 8、Windows 8.1 は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
その他、本文中に掲載されている会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。

● Google MAP および Google Earth は、Google Inc の商標または登録商標です。

■ 使用上のご注意

- 極端な高温や低温でのご使用は、誤作動や故障の原因となります。とくに夏期は車内が高温になることがありますので、窓を開けるなどして温度を下げてからご使用ください。

- 本機には、必ず、本機に付属または当社別売の microSD メモリーカードを使用してください。付属または当社別売品以外では正しく動作しないことがあります。

- microSD メモリーカードを挿入口から挿入してお使いください。microSD メモリーカードを挿入しない場合、本機は動作しません。

- microSD メモリーカードを本機に挿入する場合、向きに注意して挿入してください。

- microSD メモリーカードの抜き挿しは、本機の電源が切れていること（LED が消灯）を確認して行ってください。本機が動作中に microSD メモリーカードの抜き挿しを行うと、microSD メモリーカードが破損するおそれがあります。

- microSD メモリーカードのデータへのアクセス中（LED が点灯中、点滅中）は、絶対に microSD メモリーカードを抜かないでください。microSD メモリーカードが破損するだけでなく、本機が故障するおそれがあります。

- microSD メモリーカードを抜く場合、本機の電源が切れていること（LED が消灯）を確認のうえ、microSD メモリーカードの中央付近を軽く押し込み、手を離してください。microSD メモリーカードが少し飛び出しますので、microSD メモリーカードを取り出してください。

- microSD メモリーカードには、本機で記録されるデータ以外を保存しないでください。映像や画像が正しく記録されないことがあります。

- カメラレンズの特性により、画面に映る人や障害物は、実際の位置や距離と異なって見えることがあります。

- 本機を強くたたいたり、物をぶつけるなどの強い衝撃を与えないでください。故障や破損の原因になります。

- 本機への直火やドライヤーなどの急激な温度変化を与えると、故障や破損の原因になります。

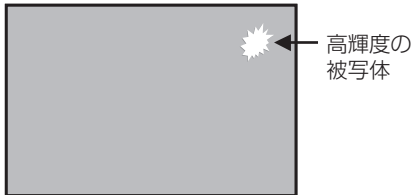
- 本機をアルコール、ベンジン、シンナー、ガソリン等揮発生の薬品類で拭かないでください。変形や変質、破損の原因になります。

- カメラの角度調整ツマミはさわらないでください。必要な映像範囲が撮影できなくなります。

- 磨き砂等が配合された洗剤で拭かないでください。キズの原因になります。

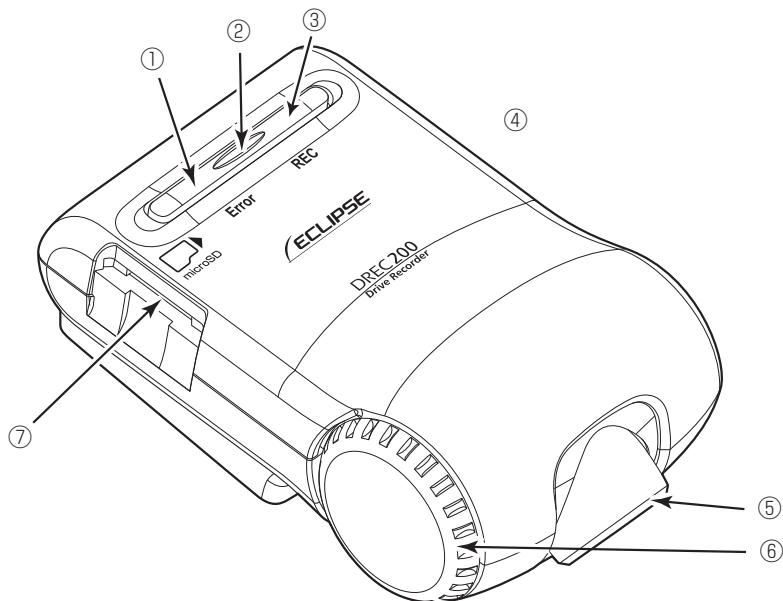
● カメラレンズ部分が汚れている場合は、水を含ませた柔らかい布などで軽く拭いてください。乾いた布で強くこするとキズの原因になります。

● フロントガラスに水滴がついているとき、汚れているときなどは、撮影した映像が見づらくなる場合があります。

● 太陽光やヘッドライトなど高輝度の被写体がカメラに映ると、映像素子特有のブルーミング現象（※）が発生したり、その光源の中心部分が黒く映ることがありますが、カメラの異常ではありません。

（※）ブルーミング現象：
高輝度の被写体（太陽やヘッドライトなど）がカメラに映ると、光周辺に白飽和が発生する

● 本機で記録されたデータの日時や位置を定期的に確認してください。日時がずれている場合や、位置が変わらない場合は、販売店にご相談ください。

■ 各部の名称とはたらき

本機

① **Error（黄 <アンバー>）LED**
点灯、点滅しているときは、本機に異常がある場合です。「LED 表示、ブザーによる通知」を確認してください。（P.11 参照）。

② **スイッチ**
通常記録中の映像を保護（イベント保護）したり、エラー音を停止します。

ワンポイント
●スイッチを押した時点から、前 12 秒／後 8 秒の合計 20 秒の映像が保護されます。
●スイッチを押してエラー音を停止した場合は、映像を保護することはできません。

③ **REC（青）LED**
点灯しているときは、記録可能状態です。
「LED 表示、ブザーによる通知」を確認してください。（P.11 参照）

④ **マイク（集音部）**
音声を記録します。
※マイクは本体に内蔵されています。

⑤ **カメラ**
映像撮影部です。

⑥**カメラロックダイヤル**
カメラの角度が動かないようにするためのロック。

⑦ **microSD メモリーカード挿入口**
使用する microSD メモリーカードをここへ挿入してください。

■ LED 表示、ブザーによる通知

LED 表示、ブザーによって本機の状態をお知らせする機能があります。
LED 状態の記号は、以下のとおりです。
○：点灯状態　●：消灯状態　☼：点滅状態　☼：速い点滅状態
(記号の中の色名は LED の色)
☼速い点滅：点灯（1 秒）／消灯（1 秒）、または、点灯（0.5 秒）／消灯（0.5 秒）の繰り返し
☼遅い点滅：点灯（1.75 秒）／消灯（0.25 秒）の繰り返し

1 異常通知

ここでは、本機に異常があった場合の状態、原因、対処について説明します。

ブザー	LED 状態	原因	対処
ピーピーピー … ＊ 1、＊ 2	☼黄 ●青 （速い点滅 1 秒間隔）	microSD メモリーカードに異常がある、またはフォーマットされていない。	microSD メモリーカードをフォーマットしてください。(P.42 参照)
		microSD メモリーカードが挿入されていない。	microSD メモリーカードを再挿入してください。
ピープーピープー … ＊ 1、＊ 5	○黄 ●青	ハード異常。 カメラ、映像処理系の異常で画像が記録できない	電源を入れなおしてください。復帰しない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
(ブザー音なし)	○黄 ○青 ＊ 3 または ☼青 （遅い点滅）	映像は記録できているが、本体に異常があり正常に動作していない (音声、記録日時の異常、Gセンサーなど)。	お買い上げの販売店にご相談ください。＊ 4
ピーピーピー … ＊ 1、＊ 5	○黄 ○青 ＊ 3 または ☼青 （遅い点滅）	オフセット設定未実施。	オフセット設定をしてください。(P.14 参照)
		オフセット設定実施後、設置場所・方向が変更されている。	

＊ 1：スイッチを押すとブザーが止まりますが、本機は動作していませんのでご注意ください。
＊ 2：動作ブザー音量設定により音量設定できます（P.40 参照）。音量の初期値は「大」に設定されています。
＊ 3：映像や音声の記録状態により異なります。
＊ 4：車両バッテリーを外した後は日時情報が初期値に戻ります。ＧＰＳの情報を受信した次の起動時から日時情報が正しい状態に補正されます。
＊ 5：音量の調整はできません。

2 正常通知

ここでは、本機が正常に動作している場合の LED 状態、ブザーについて説明します。

● LED 状態

LED 状態	状態	備考
黄　青	電源 OFF	電源 OFF の間は、記録されません。
黄　青（速い点滅 0.5 秒間隔）	電源 ON ～起動中	起動中は、記録されません。
黄　青	映像・音声の記録中	
黄　青（遅い点滅）	映像のみ記録中（音声録音オフ）	REC（青）LED は、1.75 秒間点灯と 0.25 秒間消灯の点滅を繰り返す。
黄　青（速い点滅　1 秒間隔）	ソフトウェアのバージョンアップ中	REC（青）LED と Error（黄＜アンバー＞）LED は、1 秒間隔で交互に点灯（点滅）します。バージョンアップが終わると、LED が消灯します。

●ブザー

ブザー	状態	備考
ピッ	正常に起動しました。	
ピッピッ	衝撃を検知して記録保護を開始します。	
ピッ	記録保護（イベント保護）オン、エラー音の停止など、スイッチを操作しました。	スイッチによる操作時の操作音です。
ブー	記録保護中にスイッチを押しました。	記録保護中は、イベント保護を設定できません。

・ブザー音量設定の動作ブザーで音量設定できます（P.40 参照）。音量の初期値は「大」に設定されています。

■ 本体の操作方法

本機は走行中の映像、音声、GPS から位置情報などを microSD メモリーカードに記録します。本機専用のビューアーソフトでは、映像、音声を再生すると共に、Google MAP との連携により、走行位置を確認することができます。
ここでは、本機の使い方を説明します。

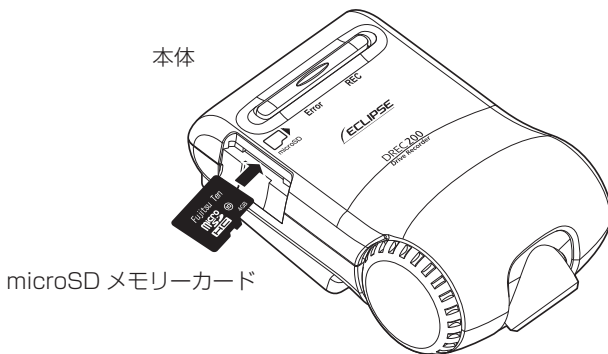
1 起動する

本機の電源は車両のエンジンキーと連動しています。エンジンキー をオン、または ACC をオンにする前に、本手順にしたがって microSD メモリーカードの有無を確認してください。

1. 本機の電源が切れている状態で、microSD メモリーカードが挿入されていることを確認します。

⚠ 注意

microSD メモリーカードが挿入されていない場合は、以下の注意を守って microSD メモリーカードを挿入してください。

- 本機の電源が切れていること (LED が消灯している状態) を確認してください。
  本機が動作中に microSD メモリーカードの抜き差しを行うと､microSD メモリーカードが破損する場合があります。
- microSD メモリーカードを本機に挿入する場合は、向きに注意してまっすぐに挿入してください。
- microSD メモリーカードは、カチッと音がするまで挿入してください。

2. 車両のエンジンキーをオン、または ACC をオンにします。

電源が入り、本機の青 LED が点滅後点灯します（Error（黄＜アンバー＞）LED は消灯）。

ワンポイント

●その後、ブザーが「ピッ」と鳴ると、起動完了です。ただし、ブザーの設定（P.40 参照）を変更した場合、ブザーは鳴りません。

● microSD メモリーカードをフォーマット（P.42 参照）した直後は、「MOVE」フォルダー以下のデータが消去されてしまうため、起動時にファイルを作成するために起動完了までの時間が長くなります。

●起動完了するまで映像の記録はできません。起動完了と同時に映像の記録を開始します。

■ オフセット設定について

オフセットが設定されていない場合、本機の起動時に「ピーピーピー・・・」とブザー音（P.11 参照）が鳴ります。

1. 本体スイッチを押しながら ACC をオンにします。

2. 本体スイッチを３秒以上押し続けます。

正常にオフセットが設定されると、「ピピッ」とブザー音が鳴ります。

ブザー音が確認できない場合は、再度オフセット設定を行ってください。

2 終了する

1. 車両のエンジンキーをオフ、または ACC をオフにします。記録動作が終了して LED が消灯すると、電源が切れた状態です。

2. 記録した映像をパソコンで見たい場合は、microSD メモリーカードを取り出します。

microSD メモリーカードの中央付近を軽く押し込み、手を離してください。
microSD メモリーカードが少し飛び出します。

⚠ 注意
●microSD メモリーカードのデータへのアクセス中（LED が点灯中・点滅中）は、絶対に microSD メモリーカードを抜かないでください。microSD メモリーカードが破損するだけでなく、本機が故障するおそれがあります。 ●microSD メモリーカードを抜く場合、本機の電源が切れていること（LED が消灯）を確認のうえ、microSD メモリーカードの中央付近を軽く押し込み、手を離してください。microSD メモリーカードが少し飛び出しますので、microSD メモリーカードを取り出してください。 ●microSD メモリーカードを挿入しない場合、本機は動作しません。microSD メモリーカードを取り出した場合は、入れ忘れにご注意ください。microSD メモリーカードが無い場合は、ブザーが「ピーピーピー…」と鳴りつづけます。

3 映像と音声を記録する

本機は常時記録型のドライブレコーダーです。衝撃を検知した場合、または本体のスイッチを押したタイミング（イベント保護機能）で記録映像を保護します。
エンジンキーをオン、または ACC をオンにすると、本機も起動します。起動が完了すると、映像と音声の記録が開始されます。記録中は REC（青）LED が点灯します。
microSD メモリーカードの記録容量上限に達したときは、古い映像と音声を消して、新しい映像と音声を記録（上書き）します。
ただし、衝撃を検知した映像 10 件、スイッチ操作を検知した映像 5 件まで保護する機能がありますが、それぞれの件数を超えた場合は、古い映像から保護が解除されます。
エンジンキーをオフ、または ACC をオフにすると、記録が終了します。

■記録中映像のスイッチによる手動保護（イベント保護機能）

通常の記録中（衝撃検知なしの場合）に本体のスイッチを押すと、「ピッ」と音が鳴り、スイッチを押した時点から、前 12 秒／後 8 秒の合計 20 秒の記録映像が保護されます。

⚠注意

- ● microSD メモリーカードへのデータ書き込み中（REC（青）LED が点灯中・点滅中）は、絶対に microSD メモリーカードを抜かないでください。microSD メモリーカードが破損するだけでなく、本機が故障するおそれがあります。
- ●電源のオン／オフを頻繁に繰り返すと、短時間の記録ファイルが多くなり、全体の記録時間が短くなります。

ワンポイント

本機は加速度や衝撃を検知したときに自動で記録を保護します。右左折やカーブ、旋回でも自動で記録されることがありますので、通常の運転で頻繁に自動記録される場合は、ビューアーソフトでセンサー感度を調整してください。

⇒「本体の設定を変更する」（P.35 参照）

バックアップ電源について

本機は、事故の衝撃で電源が遮断される場合を想定し、バックアップ電源を内蔵しています。バックアップ電源は充電式のため、電源オン直後や低温下では、バックアップ時間が短くなる場合があります。バックアップ電源により、電源遮断前の映像を記録しますが、必ず記録することを保証するものではありません。

4 記録した映像を見る

本機で記録した映像は、パソコンのビューアーソフト（P.17 参照）で再生してください。

■ ビューアーソフトの操作方法

本機で記録した映像と音声はパソコンで再生できます。再生には専用のビューアーソフトを使います。また、ビューアーソフトを使うと、本機の各種設定を変更することもできます。ここでは、ビューアーソフトの使い方を説明します。

ワンポイント

パソコンの画面は Windows 7 Professional Edition (SP1) のものです。OS や設定によって画面の表示が異なる場合があります。

1 ビューアーソフトをインストールする

ビューアーソフトのインストーラーは本機に付属または当社別売の microSD メモリーカードにあらかじめ保存されています。ビューアーソフトをパソコンで使用するために、パソコンにインストールします。

1. microSD メモリーカードを、カードリーダーなどを使用してパソコンに挿入します。

ワンポイント

- microSD メモリーカードスロットが搭載されているパソコンでは、microSD メモリーカードをそのまま挿入することができます。
- SD メモリーカードスロットが搭載されているパソコンでは、同梱のアダプタを使用して挿入することができます。
- 各スロットが搭載されていないパソコンの場合は、お客様でカードリーダーをご準備ください。
- お使いのパソコンによっては、microSD メモリーカードスロット／ SD メモリーカードスロットのドライブ文字が異なる場合があります。

2. キーボードのウィンドウズキー（⊞）と E キーを同時に押します。

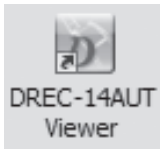
エクスプローラーが起動します。

3. microSD メモリーカードのドライブを選択して、ビューアーソフトのインストーラー「DREC-14AUT_SETUP.EXE」をパソコン内の任意の場所（デスクトップなど）にコピーします。

⚠ 注意
ビューアーソフト以外のファイルが表示されますが、本体の動作を記録したファイルですので、削除しないようにご注意ください。

4. 任意の場所にコピーした「DREC-14AUT_SETUP.EXE」をダブルクリックします。

5. インストールウィザード画面で［次へ］をクリックします。以降は画面の指示に従って、インストールを進めます。

6. インストールが終わると、デスクトップに「DREC-14AUT Viewer」のショートカットアイコンが表示されます。

ワンポイント

●インストールの完了と同時にビューアーソフトを起動させたい場合は、インストールの完了画面で「プログラムの起動」にチェックを付けたままで「完了」をクリックしてください。

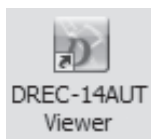
●お使いのパソコンによっては、インストール中およびビューアーソフトの初回起動時にユーザーアカウント制御のメッセージが表示されます。画面の説明に従い、必ず「はい」をクリックしてください。

2　記録した映像を見る

記録した映像を、ビューアーソフトで見ることができます。
以下の手順でビューアーソフトを起動し、映像を再生します。

1. ドライブレコーダー本体から抜いたmicroSDメモリーカードを、カードリーダーなどを使用してパソコンに挿入します。

お使いのパソコンの設定によっては、microSDメモリーカードを挿入したときに「Windowsが実行する動作を選んでください」というダイアログが表示されます。その場合は、「キャンセル」ボタンをクリックするか、「何もしない」を選択するか、または右上の✕ボタンでダイアログを閉じてください。

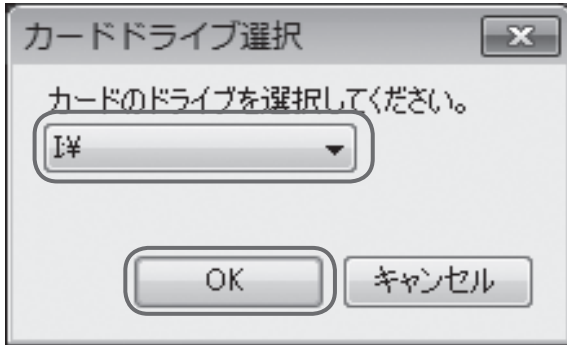
2. デスクトップの「DREC-14AUT Viewer」のショートカットアイコンをダブルクリックします。

3. ビューアーソフトが起動します。

4. ［フォルダーアイコン］ボタンをクリック（またはメニューの「ファイル」－「開く」を選択）し、見たい映像のフォルダーを指定します。

5. ［カードデータ］（microSD メモリーカードの映像）ボタンをクリックします。

バックアップ機能（P.31 参照）でパソコンに保存した映像を見るときは、［バックアップフォルダー］ボタンを、映像ファイルを直接選択するときは［ファイル選択］ボタンをクリックします。

フォルダー構成やファイル名については、P.30 をご覧ください。

6. カードドライブ選択画面で、microSD メモリーカードのドライブを選択して［OK］ボタンをクリックします。

バックアップフォルダーの選択画面が表示されたときは、保存したフォルダーを選択して［OK］ボタンをクリックします。

7. ［トリップ］［チャプター］［イベント］タブから、映像の種類を選択します。次に、右側の映像リストの見たい映像を選択し、▶ をクリックします。

各タブには、次の映像リストが表示されます。

・［トリップ］タブ　：起動単位（エンジン ON ～ OFF まで）の映像リスト
・［チャプター］タブ：選択したトリップをファイル単位で分割した映像リスト
・［イベント］タブ　：衝撃の検知／スイッチ操作によって保護されている映像リスト

ビューアーソフトに指定した映像が読み込まれ、再生が始まります。

8. ✕ ボタンをクリック（またはメニューの「ファイル」－「終了」を選択）し、終了します。

ワンポイント

●［イベント］タブの映像リストの「検知日時」欄には、衝撃の検知方法が次のように表示されます。

・「オート」　：本機が衝撃を検知して自動的に保護した記録映像

・「マニュアル」：本体スイッチで保護した記録映像

●表示中の画像を JPEG ファイルで保存したい場合は、表示中の画面で画面上部の をクリックします。画像に埋め込む情報の選択画面で、画像に表示する項目にチェックを付けて、［OK］ボタンをクリックしてください。その後、保存先を指定してパソコンに保存します。

●映像の一部をズーム（拡大表示）するときは、画面上部の をクリックして、ズーム倍率を選択し、拡大するエリア（範囲）を選択します。ズームを解除するときは、拡大表示中の映像をクリックしてください。

●映像のみをフルスクリーンで表示するときは、映像表示部右上の FULL をクリックしてください。フルスクリーン表示を解除するときは FULL をクリックしてください。また、映像をクリックしても解除することができます。

●microSD メモリーカードに保存できる映像の数は限られています。必要に応じて、microSD メモリーカードの映像データをパソコンのハードディスクに保存してください。

⇒「microSD メモリーカードのデータをパソコンにバックアップする」（P.31 参照）

■ビューアー画面の構成

①	ビューアーソフトを終了します。
②	映像の種別を切り替えます。 [トリップ]　：起動単位の映像を表示 [チャプター]：ファイル単位の映像を表示 [イベント]　：衝撃およびスイッチ操作を検知して保護されている映像を表示
③	指定した映像種別の記録日時（または検知日時）とサムネイルを一覧で表示します。
④	選択した映像の位置情報と日時を地図（Google MAP）上にアイコンで表示します。 ：Map が別ウィンドウで表示 もう一度クリックすると Map をビューアー画面に再表示 ：Map が非表示 Map ▲ ：ビューアー画面に Map が再表示
⑤	再生している映像の G 値の大きさと方向を表示します。 G ：表示 / 非表示を切り替え
⑥	再生している映像の速度を表示します。 速度 ：表示 / 非表示を切り替え
⑦	GPS 未測位時（速度・位置が不明な場合）は、GPS のアイコンがグレーになり、次のように変わります。 ④の自車位置マークの色　：グレー ⑥の速度の数値　　　　　：- - ⑥の速度の針の色　　　　：グレー ⑧のチャート図の速度の色：グレー ※ GPS 測位時の GPS アイコンは黄色。

⑧	情報を表示するチャート図は次のようになります。 左縦軸：加速度 右縦軸：速度 横軸　：時間 桃色　：速度 橙色　：加速度 ※チャート上をクリックもしくはドラッグすると、再生位置を移動することができます。
⑨	映像の再生・停止などの操作用ボタン（P.26 参照）
⑩	映像の再生位置を表すトラックバー。 起動（検知）単位の映像再生位置（P.26 参照） [A]：加速や衝撃を検知した場所 [M]：スイッチを押した場所
⑪	ビューアー操作用アイコン（P.26 参照）。

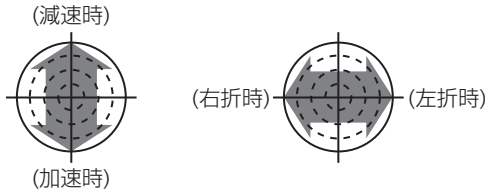
ワンポイント

●起動直後やトンネル、ビル街などの受信環境が悪い場合、GPS 衛星の位置によっては、GPS の信号を正しく取得できずに、地図上での自車位置ずれや速度が正しく表示されないことがあります。

●G値の大きさは、値が大きいほど中心から離れます。運転の状況によるG値の方向は下記のとおりです。

(減速時)

(加速時)

(右折時)　(左折時)

●本体の進行方向がずれる場合は、手動で設定を行ってください。
　⇒「センサーの感度や補正を設定します」(P.38 参照)

●方向は、直進状態の発進・停止のタイミングで学習します。

●発進・停止の少ない走行や山道走行では正しく学習できない場合があります。

●映像を読み込む時や再生している時にエラーメッセージが表示され、映像が正しく再生されない場合は、映像データが破損している可能性があります。必要に応じて microSD メモリーカードの映像データをパソコンのハードディスクに保存し、microSD メモリーカードのフォーマットを行ってください。
　⇒「microSD メモリーカードのデータをパソコンにバックアップする」(P.31 参照)
　⇒「microSD メモリーカードをフォーマットする」(P.42 参照)

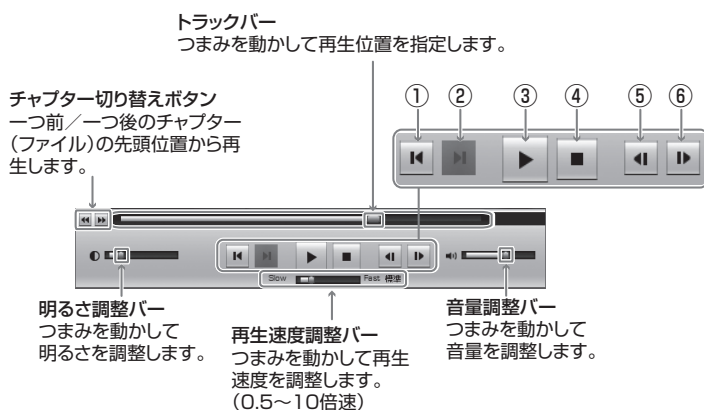
●microSD メモリーカードを抜くときは必ずパソコンで安全な取り外し操作を行ってください。

ビューアー操作用アイコン（ボタン）の使い方

ビューアー上部のアイコン（ボタン）では、次の操作ができます。

	microSD メモリーカードまたはパソコンから、映像を選択して再生します。
	本機の設定を変更します。
	映像を任意の区間で切り取って保存します。
	映像を JPEG 画像として保存します。
	選択した範囲の映像を、指定した倍率でズーム（拡大表示）します。
	ストップウォッチ機能を別ウィンドウで表示します。
	常時記録の位置データを、Google Earth で表示可能な kmz 形式のファイルに変換して保存します。

再生操作用ボタン／トラックバーの使い方

再生操作用ボタンでは、次の操作ができます。

①	一つ前のトリップ（またはイベント）の先頭位置から再生します。
②	一つ後のトリップ（またはイベント）の先頭位置から再生します。
③	映像を再生します。再生中は一時停止ボタンとなります。
④	再生を停止します。
⑤	一つ前のコマを表示します。
⑥	一つ後のコマを表示します。

ワンポイント

●再生速度調整バーでは、再生速度を 0.5 倍／標準／ 2 倍／ 3 倍／ 5 倍／ 10 倍の 6 つの速度を選択できます。ただし、0.5 倍／ 2 倍の速度では、音声が映像の倍率に合わせた速度になります。また、3 倍／ 5 倍／ 10 倍の速度では、音声は再生されません。

●音量調整バーの左にある音量調整アイコン をクリックすると、音声がミュート（無音）状態になります。ミュートを解除するときは、音量調整アイコン をクリックします。

●映像が暗い場合は、再生操作用ボタンの左端のつまみで映像の明るさを調整してください。ただし、ご使用のパソコンによっては、明るさ調整機能が使用できない場合があります。

●トラックバーのつまみを動かすと、つまみで指定した位置から再生します。

■ストップウォッチ機能の使い方

ストップウォッチ機能を別ウィンドウで利用できます。画面上部の をクリックしてください。

計測中は、任意の区間を指定してラップタイム（区間経過時間）や平均速度の確認ができます。ラップタイムは、開始 S ／停止 E に 9 つのポイントを合わせて、最大 10 区間まで指定できます。

ワンポイント

●計測中は、トラックバーに、計測スタート位置／計測ポイント／計測停止位置が表示されます。

・S：計測スタート位置
・1～9：計測ポイント
・E：計測停止位置

●計測中は、前のチャプターへボタンやトラックバーのつまみを動かしても、計測開始ポイントまたは最後のラップポイントより前に戻すことはできません。
●コマ送り、コマ戻しの操作時にラップポイントを指定できます。
●ラップタイムは、前のラップから現ラップ間の区間タイムを表示します。
●再生終了／再生停止操作を行った場合にも、計測を停止して、最終ラップタイムと平均速度を表示します。
●ストップウォッチ動作中、ファイルをまたいでトラックバーを移動させると、読み込みに時間がかかる場合があります。
●各ラップタイムの合計と TOTAL 時間の間に誤差（最大 0.9 秒）が発生する場合があります。
●Stop Watch 画面の内容を保存することはできません。保存したい場合は、パソコンの Print Screen キーを押して画面をコピー後ペイントなどに貼り付け、画像として保存してください。
●計測中に をクリックし、映像種別を選択すると、計測結果消去の確認画面が表示されます。別の映像を指定するときは [OK] をクリックしてください。[キャンセル] をクリックして映像種別選択画面を閉じると、計測画面に戻ります。

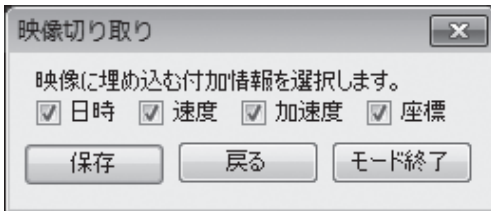
・計測結果をクリアする

計測停止後に LAP/RESET ボタンをクリックします。

■任意の映像区間の切り取り方

切り取りの開始時点（位置）の映像で ボタンをクリックすると、次のような切り取り範囲指定画面が表示されます。トラックバーのスライダーを動かして切り取り終了位置を選択します。切り取り範囲は、最長 30 分間まで指定できます。

トラックバーを動かすと、切り取り範囲が赤く表示されます。

切り取りの終了時点（位置）の映像で、再度 ボタンをクリックします。
次の「映像切り取り」画面で、映像に埋め込む情報にチェックを付けて、[保存] をクリックしてください。保存先を指定すると、切り取った映像を保存できます。
ただし、情報を埋め込むと、映像切り取りに時間がかかりますのでご注意ください。

ワンポイント

切り取り後のデータを再度切り取る場合は、付加情報は追加できません。

■ Google Earth 用位置データへの変換方法

変換したい映像を選択し、 ボタンをクリックします。

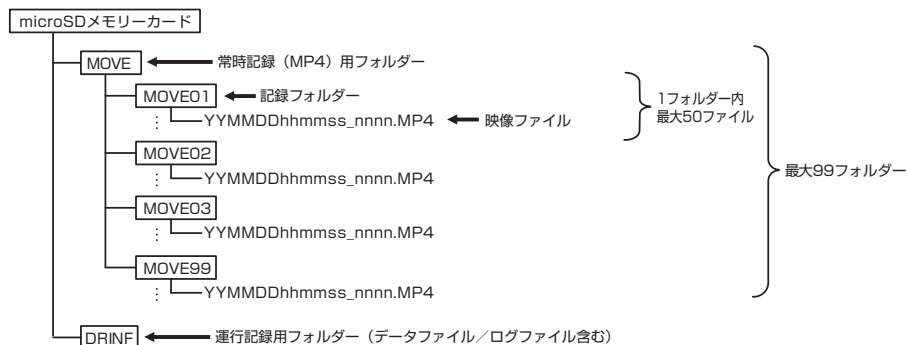
ワンポイント

変換する前に、お使いのパソコンに Google Earth をインストールしてください。
Google Earth は、Google のサイトからダウンロードできます。

保存先とファイル名を指定して［保存］をクリックします。Google Earth の起動確認画面で［はい］をクリックすると、Google Earth が起動します。Google Earth 画面左側の保存したファイル名を［＋］で展開し、「ルート」を選択します。 （ツアー再生）ボタンをクリックすると、走行軌跡が表示されます。

「ルート」の［＋］をクリックして「マイカー」を選択後、 （ツアー再生）ボタンをクリックすると、立体的な映像で走行軌跡を再生できます。

■ フォルダー構成とファイル名

microSD メモリーカード内は、次のようにフォルダーと記録データが保存されています。

●映像のファイル名は、次のルールで付けられます。
YYMMDDhhmmss_nnnn.MP4
年月日時分秒（エンジン ON(ACC ON) した時間）_ 連番

●ご購入時は microSD メモリーカード内に「DUMMYMOVExxxx.DAT」ファイルがあります。このファイルは映像を記録するために必要なため、消さないでください。映像を記録することで映像ファイルとして保存されていきます。

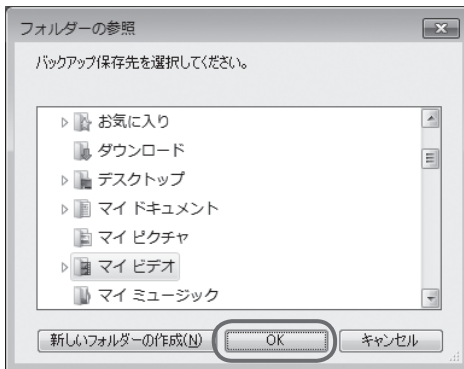
●誤って「DUMMYMOVExxxx.DAT」ファイルや映像ファイルを消してしまった場合は本体起動時に再度「DUMMYMOVExxxx.DAT」ファイルを作成するため、記録開始までの時間が長くなります。

●映像のファイル名は、変更しないでください。ビューアーソフトで再生できなくなる可能性があります。また、フォルダーやファイル（ルート上の SETINF.DAT や GROUP.DAT など）は削除しないでください。

3 microSD メモリーカードのデータをパソコンにバックアップする

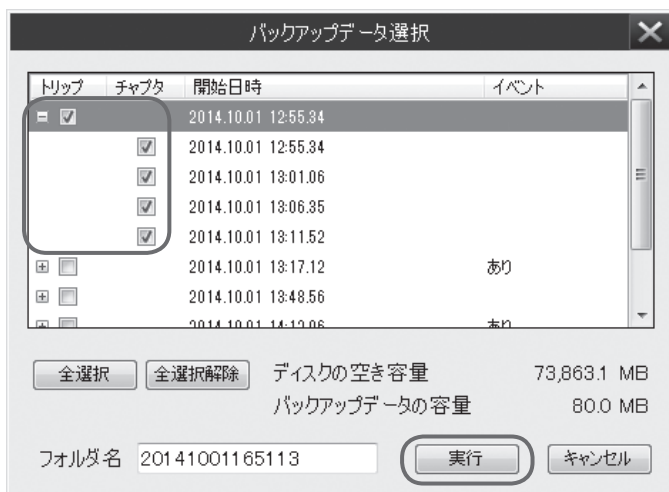
microSD メモリーカードは容量の関係から、保持しておける映像の数が限られています。microSD メモリーカードの容量がいっぱいになると、古いファイルから上書きしていきますので、古い映像を見ることができなくなります。そのため、必要に応じて、microSD メモリーカードの映像データはパソコンのハードディスクなどに保存してください。ビューアーソフトを使うと、microSD メモリーカードの記録データを、メニューから簡単な操作でパソコンなどに保存（バックアップ）することができます。

1. ビューアーソフトを起動し、メニューの「設定」－「バックアップ保存先」を選択します。

2. バックアップデータの保存先のフォルダーを選択して、[OK] ボタンをクリックします。

ワンポイント

●バックアップ保存先を設定しなかった場合は、「マイビデオ」フォルダーに保存されます。

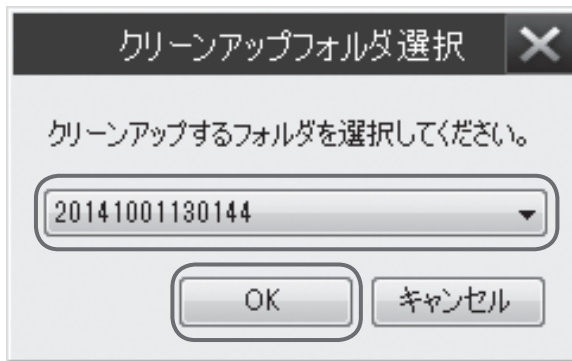
3. ビューアーソフトで microSD メモリーカードの記録映像を読み込み、メニューの「バックアップ」－「バックアップ」を選択します。

4. バックアップデータの選択画面で、保存するデータにチェックを付けて、[実行] ボタンをクリックしてください。

選択した記録データが、指定した保存先にバックアップ(保存)されます。フォルダー名はバックアップ実行日時が初期表示されます。
バックアップした映像を見るときは、「記録した映像を見る」（P.20 参照）を確認してください。

4 パソコンにバックアップしたデータをクリーンアップする

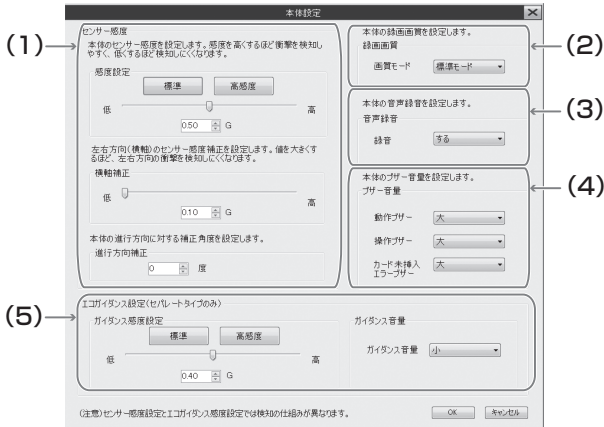
「microSD メモリーカードのデータをパソコンにバックアップする」（P.31 参照）でバックアップした記録データを、メニューから簡単な操作で消去（クリーンアップ）することができます。

1. ビューアーソフトを起動し、メニューの「バックアップ」－「クリーンアップ」を選択します。

2. クリーンアップするフォルダーを選択して、[OK] ボタンをクリックします。

3. クリーンアップするデータを選択して、［実行］ボタンをクリックします。

選択したバックアップデータが、クリーンアップ（消去）されます。

5 本体の設定を変更する

ビューアーソフトから本体の設定値を microSD メモリーカードに保存しておくことで、エンジンキーのオン時に、自動的に本体の設定を変更することができます。変更が可能な設定項目は以下の通りです。

(1) センサー感度

衝撃検知時の保護の際に反応しやすい場合や反応しにくい場合は、センサー感度を調節します。センサー感度は少しずつ調整し、「検知しやすい(保護されやすい)」/「検知しにくい(保護されにくい)」か、映像の記録状態をその都度確認してください。

- 「感度設定」:衝撃を検知するセンサー感度を「標準」/「高感度」から選択します。または、スライドバーで感度(設定範囲:0.30G ~ 0.70G)を詳細に設定します。感度を高くするほど衝撃を検知しやすくなります。
- 「横軸補正」:スライドバーで、左右方向(横軸)に対して感度の補正値(設定範囲:0.10G ~ 0.50G)を設定します。値を大きくするほど、左右方向の衝撃を検知しにくくなります。
- 「進行方向補正」:スライドバーで、進行方向の補正角度(設定範囲:− 45 度 ~ 45 度)を設定します。

(2) 録画画質

記録する映像の画質モードを「高画質」/「標準」/「長時間」から選択します。「高画質」では録画時間が短くなり、「長時間」では録画時間が長くなります。

(3) 音声録音設定

エンジンキーオン時の音声録音を「する」/「しない」を設定します。

(4) ブザー音量

動作ブザー、操作ブザー、カード未挿入時のエラーブザーの音量をそれぞれ調節します。「大」/「小」/「消音」の 3 段階から選んでください。

(5) エコガイダンス

本機は対応していません。

⚠ **注意**

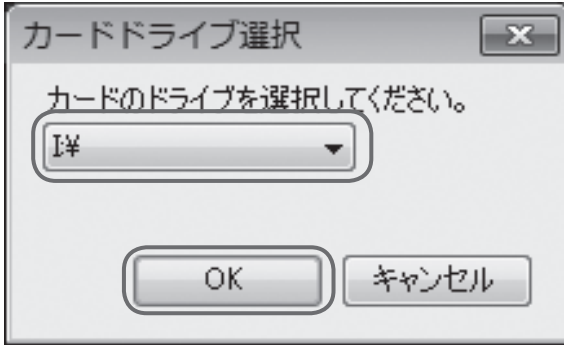
●センサー感度はむやみに変更しないでください。

●**センサー感度を低くした場合、不要なデータは保護されにくくなりますが、必要なデータまで保護されなくなる可能性も高くなりますのでご注意ください。**

●右左折やカーブで検知しやすい（保護されやすい）場合は、横軸補正の設定値を調整してください。

1. 本体から抜いた microSD メモリーカードを、カードリーダーなどを使用してパソコンに挿入します。

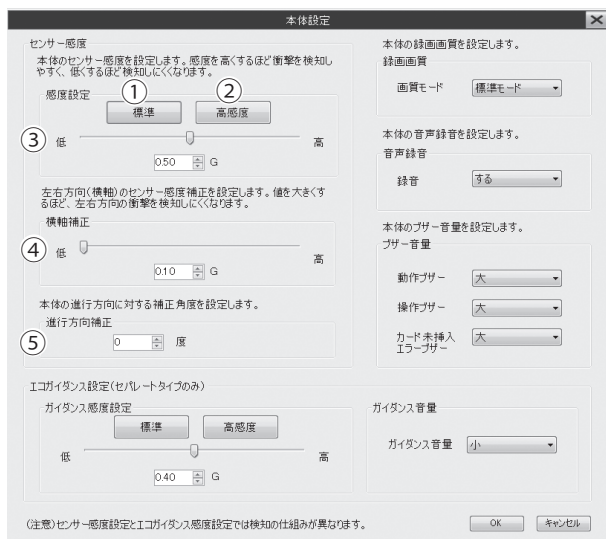
2. ビューアーソフトを起動し、⚙ をクリックするか、またはメニューの「設定」−「本体設定」を選択します。

3. microSD メモリーカードのドライブを選択して［OK］ボタンをクリックします。

ワンポイント

●microSD メモリーカードに動作記録がない場合（または、初めての場合）、「設定ファイルを読み込めません」とメッセージが表示されます。［OK］ボタンをクリックしてください。

本体設定画面が表示されます。microSD メモリーカードを正しく読み込めた場合は、以前に動作していた設定が表示されます。

4. センサーの感度や補正を設定します。

センサー感度の設定

①センサー感度を標準的な値にします。

②センサー感度を高い値にします。

③センサーの感度を詳細に設定します。感度を高くするほど衝撃を検知しやすくなります。
設定範囲：0.30G ～ 0.70G

④センサー感度の左右方向（横軸）に対して感度の補正値を設定します。値を大きくするほど、左右方向の衝撃を検知しにくくなります。
設定範囲：0.10G ～ 0.50G

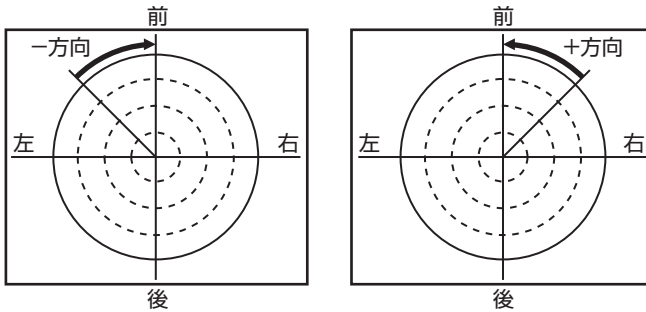
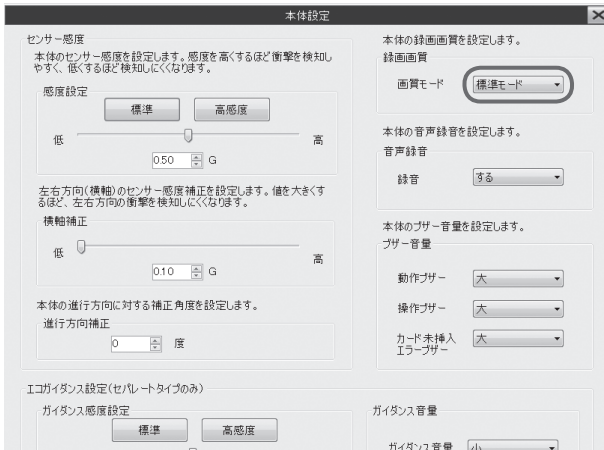
⑤本体の進行方向に対する補正角度を設定します。
設定範囲：－ 45 度～ 45 度

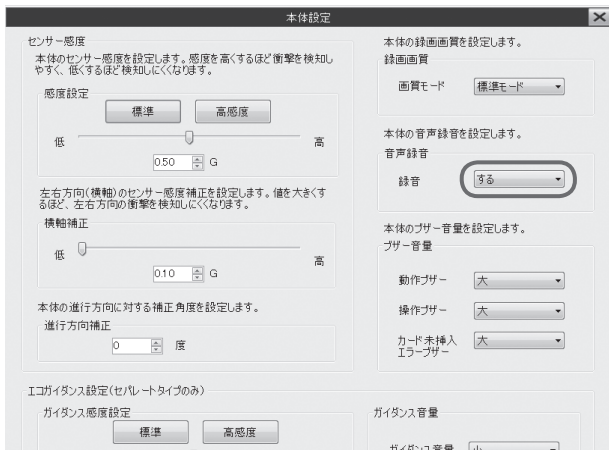
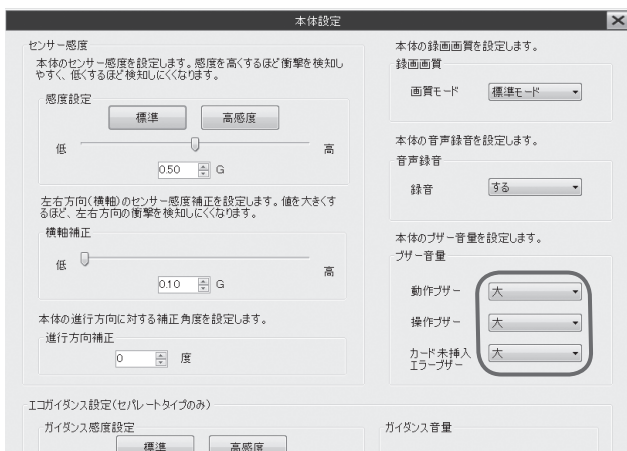
ワンポイント

●センサー感度を高くするほど衝撃を検知しやすくなります。

●microSD メモリーカードを本体に挿入する前にパソコン上で設定画面を開くと調整前の値が表示されますが（数値は本体挿入後に変更されます）、microSD メモリーカードには調整した値を記録しています。

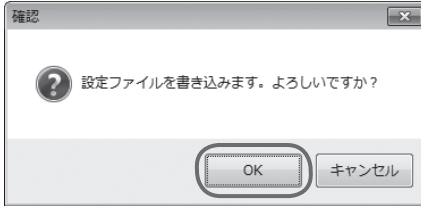
●横軸補正は、前後方向（縦軸）には影響しません。

●進行方向補正角度について
進行方向のずれは、映像を再生して確認してください。
直進中の減速時のグラフが進行方向に対して左にずれている場合－方向に補正してください。また、進行方向に対して右にずれている場合＋方向に補正してください。

5. 録画画質のモード（高画質 / 標準 / 長時間）を設定します。

高画質モードでは記録時間が短くなり、長時間モードでは記録時間が長くなります。

6. 音声録音（する / しない）を設定します。

7. ブザー音量を設定します。

映像を記録する時などに鳴る動作ブザー、またはイベント（操作）ブザー、カード未挿入時のエラーブザーの音量を指定します。

> **ワンポイント**
>
> 本機では、本体設定画面下部の「エコガイダンス設定（セパレートタイプのみ）」は設定できません。

8. [OK] ボタンをクリックします。

9. 設定保存の確認画面で、[OK] ボタンをクリックします。

microSD メモリーカードに設定を保存します。設定値を保存した microSD メモリーカードを用いて、次回にエンジンキーをオンしたときに、自動的に値が反映されます。

⚠ **注意**
設定変更後は、実際の運転と照らし合わせて、衝撃を検知しやすい／検知しにくいことが無いか確認してください。その際、**危険運転（急発進、急ブレーキ等）は絶対に行わないでください。**

6 microSD メモリーカードをフォーマットする

映像を再生したり、映像データをコピーしたりする際にエラーが表示される時は、microSD メモリーカードのデータが破損している可能性があります。以下の手順で microSD メモリーカードをフォーマットしてください。

⚠注意

●基本的に microSD メモリーカードのフォーマットは必要ありません。microSD メモリーカードで書き込み・読み込みエラーが発生する場合、または本体が起動しない場合のみフォーマットしてください。

●**フォーマットすると、microSD メモリーカードのビューアーソフトのインストーラーおよび映像データは削除されます。**

・ビューアーソフトをパソコンにインストールしていない場合は、先にビューアーソフトをパソコンにインストールしてください。また、必要な映像はパソコンへ保存してください。

⇒「ビューアーソフトをインストールする」（P.17 参照）
⇒「microSD メモリーカードのデータをパソコンにバックアップする」（P.31 参照）

1. SD メモリーカードフォーマットソフトウェアを準備する。

SD メモリーカードフォーマットソフトウェアをお使いのパソコンへインストールします。インストール手順は、弊社ホームページを参照ください。

① Internet Explorer などのウェブブラウザを起動し、弊社ホームページへアクセスします。弊社ホームページの URL は下記のとおりです。

http://www.e-iserv.jp/top/

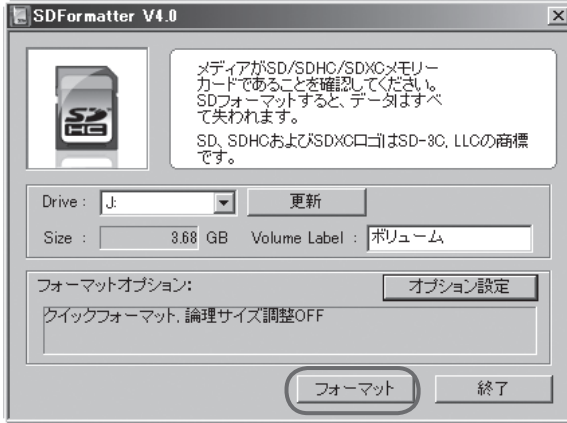
② 「ドライブレコーダービューアーソフトダウンロード」を選択してください。

③ 「SD メモリーカードフォーマットソフトウェア」を選択してください。

④ 記述している手順に従って、SD メモリーカードフォーマットソフトウェアをインストールしてください。

2. SD メモリーカードフォーマットソフトウェアを起動します。

［スタート］→［すべてのプログラム］→［SDFormatter］→［SDFormatter］を選択します。

3. ［フォーマット］ボタンをクリックします。

⚠ 注意
「Drive:」欄が、microSD メモリーカードを挿入したドライブになっていることを必ず確認してからフォーマットしてください。 異なるドライブが選択されている場合は、［更新］ボタンをクリックし、microSD メモリーカードを挿入したドライブを選択してください。

4. フォーマットが終わると、確認ダイアログが表示されるので、［OK］ボタンをクリックします。

5. ［終了］ボタンをクリックします。

7 ヘルプを表示する

以下の手順でヘルプを表示します。ヘルプでは最新のビューアーソフトのインストーラーと取扱説明書がダウンロードできます。

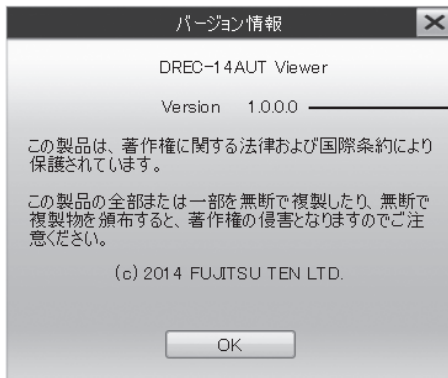
1. メニューの「ヘルプ」－「ダウンロードサイト」を選択します。

最新のビューアーソフトのインストーラーと取扱説明書のダウンロードサイトが表示されます。
ダウンロードするには、インターネット接続の環境が必要です。

8 バージョン情報を表示する

以下の手順でビューアーソフトのバージョン情報を表示します。

1. メニューの「ヘルプ」－「バージョン情報」を選択します。

ビューアーソフトのバージョン情報を表示します。

ビューアーソフトのバージョンを表示します。

9 ビューアーソフトを消してしまった場合

誤ってビューアーソフトを消してしまった場合は、弊社ホームページよりビューアーソフトをダウンロードしてください。

1. Internet Explorer などのウェブブラウザを起動し、弊社ホームページへアクセスします。弊社ホームページのアプリケーションソフトダウンロードの URL は下記のとおりです。
   http://www.e-iserv.jp/top/

> **⚠ 注意**
>
> 弊社ホームページは、2 ヶ月に 1 回程度の割合で、メンテナンスのために 1 日中アクセスできなくなることがあります。予めご了承ください。

2. 「ドライブレコーダービューアーソフトダウンロード」を選択してください。
3. DREC200 の「ビューアーソフトダウンロード」を選択してください。
4. 使用許諾条件と免責事項をよく読み、「同意する」を選択してください。
5. 表示されたホームページからビューアーソフトをダウンロードし、デスクトップへ保存します。

10 ソフトウェアについて

ビューアーソフトに含まれるオープンソースソフトウェアについて

ビューアーソフトには、GNU General Public License, versin 2 その他のソースコードの配布を要求しているオープンソースソフトウェアライセンスのもとでライセンスされているソフトウェアが含まれています。これらのソフトウェアのソースコードは、以下の専用サイトからダウンロードいただけます。

http://www.e-iserv.jp/top/driverecorder/driverecorder.html

About Open Source Software included in the viewer software

This viewer software includes certain open source or other software originating from third parties that is subject to the GNU General Public License version 2 (GPLv2) and different copyright licensees, disclaimers and notices. The source code of software licensed under GPLv2 and different copyright licenses, disclaimers and notices are distributed at the website below,

http://www.e-iserv.jp/top/driverecorder/driverecorder.html

■ よくある質問

本体

質問事項	回　答
車両の電源を入れてもLEDが点灯しない／電源が入らないんですが？	本体に電源が供給されていない可能性がありますので、お買い上げの販売店にご相談ください。
動作確認はどうやって行うのか？	動作確認手順（「本体の操作方法」（P.13 参照）に従い、映像が撮影されているかパソコンで確認願います。
microSD メモリーカードのデータを自分で消すことはできるのか？	原則として、データは削除しないでください。
カーナビで映像を見ることはできないの？	ナビゲーションシステムで再生する場合は、SD メモリーカードの MP4 再生機能があるものに限られます。ご使用のナビゲーションシステムの仕様を確認ください。なお、ナビゲーションの仕様によっては、再生できない場合もあります。
専用の microSD メモリーカードが壊れたけどどうすればいいですか？	microSD メモリーカードのフォーマットを行ってください（P.42 参照）。それでも正常に記録できないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。
ブザー音が小さくて聞こえないのですが、大きくできないの？	ビューアーソフトで音量を変更できます（P.40 参照）。
事故の衝撃でバッテリーが外れても記録できますか？	事故の衝撃でバッテリーが外れることを想定し、バックアップ電源を内蔵しています。バックアップ電源により、電源遮断前 ※ の映像を記録しますが、必ず、記録することを保証するものではありません。 ※バックアップ電源は充電式のため、電源オン直後や低温下では、バックアップできない場合があります。
事故で壊れた場合、修理はしてもらえるの？	事故などで強い衝撃を受けて壊れた場合は、部品故障の発生が懸念され、修理後の品質保証ができかねますので、修理をお受けすることはできません。
記録時間を変更したいんですけど？	記録時間は、4GB の microSD メモリーカードで、高画質モード：100 分／標準モード：150 分／長時間モード：200 分です。 当社別売の microSD メモリーカード（8GB）に交換するか、ビューアーソフトで画質モードを変更してください（P.39 参照）。 ※市販の microSD メモリーカードでの動作は保証できません。 また、衝撃を検知して保護されている映像は、検知前１２秒／検知後８秒（固定）で再生します。
記録したはずの映像がないんだけど？	本機は常時記録型の映像記録装置です。microSD メモリーカードの記録可能時間の上限を超えると、古い記録から上書き保存していきます。必要に応じて、microSD メモリーカードのデータをパソコンのハードディスクなどに保存してください（P.31 参照）。

質問事項	回　答
信号機が確認できないことがあるけど故障？	映像の記録周期とLED式信号機の周期によっては、一瞬信号機が消えて見える場合があります。また、逆光等の環境によっては信号機が確認できない場合があります。その場合は、前後の映像や周囲の車両の状況から判断してください。信号機が確認できない件については、弊社は一切責任を負いません。
エンジンを切っても電源が切れないんですけど？	お買い上げの販売店にご相談ください。
本体が起動しないのですが？	お買い上げの販売店にご相談ください。
microSDメモリーカードに、映像が記録できないんですが？	次の理由により正常に動作していない可能性がありますので、ご確認ください。 ・microSDメモリーカードに異常はありませんか？異常がある場合は、microSDメモリーカードのフォーマットを行ってください（P.42参照）。 ・本機に付属または当社別売のmicroSDメモリーカードを使用していますか？市販のmicroSDメモリーカードでの動作は保証できません。
記録開始までの起動時間が長いんですが？	microSDメモリーカードをフォーマットした場合など、microSDメモリーカードに空き容量がある場合、[DUMMYMOVExxxx.DAT]ファイルを作成するため、記録開始までの時間が長くなります。
記録時間が150分より短いんですけど？	microSDメモリーカードにドライブレコーダーと別のファイルが入っていませんか？ また、短い走行を繰り返し、ドライブレコーダーのON／OFFの回数が多いと、記録時間が短くなる場合があります。 また、高画質モードに設定していませんか？ 高画質モードの場合、記録時間は約100分になります。ビューアーソフトで、標準モード／長時間モードに変更してください(P.39参照)。
映像が頻繁に保護されてしまうのですが？	ビューアーソフトでセンサー感度を調整する（P.38参照）ことができます。解決しない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

ビューアーソフト

質問事項	回　答
パソコンを持っていませんが見ることができますか？	ナビゲーションシステムで再生する場合は、SD メモリーカードの MP4 再生機能があるものに限られます。ご使用のナビゲーションシステムの仕様を確認ください。ナビゲーションの仕様によっては、再生できない場合もあります。ただし、本体の設定などを変更するためにはパソコンが必要です。
事故を起こした際、自分に不利な映像でも相手に提出しなければいけない？	提出する義務はありません。
保護された映像を再生した場合に、再生時間が 20 秒未満のものがありますが、これは故障ですか？	電源を入れた後すぐに衝撃を検知した場合や衝撃検知した後すぐに電源を切った場合には、20 秒未満の映像になります。
記録できた映像は、事故の証拠として認められるのですか？	本機は、事故の検証に役立つことも目的の一つとした製品ですが、証拠としての効力を保証するものではありません。
パソコンの OS が Windows 98、ME、Windows 2000、XP、Vista ですが映像は見ることができますか？	対応 OS は Windows 7、Windows 8、Windows 8.1 です。それ以外の OS では、ビューアーソフトは起動しても再生が正しく行われないことがあります。
古いパソコンを使っていますが、新しいパソコンは必要ですか？	Windows 7、Windows 8、Windows 8.1 の OS が快適に動作するパソコンであれば、新しいパソコンは必ずしも必要ではありません。
記録した映像は、Windows Media Player 等の汎用ソフトで見ることはできますか？	できますが、速度や位置などの詳細な情報は表示されません。また、すべての汎用ソフトで再生できるわけではありません。
ビューアーソフトを消してしまいました。	ビューアーソフトのインストーラーは microSD メモリーカードの中に入っています。microSD メモリーカードからインストールしてください。 また、専用サイトからもダウンロードが可能です。 ⇒「ビューアーソフトを消してしまった場合」（P.46 参照）。
パソコンに microSD メモリーカードを挿入しても認識しないんですが？	microSD メモリーカードが正しく挿入されていない可能性があります。再度 microSD メモリーカードを挿入しなおしてください。また、カードリーダーを使用している場合、カードリーダー自体が正しくパソコンで認識できていない可能性もあります。カードリーダー付属の説明書を参照してください。

質問事項	回　答
ビューアーソフトが起動しないんですが？	お使いのパソコンのOSはWindows 7、Windows 8、Windows 8.1ですか？ビューアーソフトは、Windows 7より古いOSや、MacやLinuxなど他のOSでは起動しません。もし、OSが正しいにも関わらず起動しない場合は、ビューアーソフトのファイルが壊れている可能性がありますので、再インストールしてください。 ⇒「ビューアーソフトを消してしまった場合」(P.46参照)。
再生ボタンを押しても、映像の再生が始まらないんですが？	再度ファイルを開いて、再生を行ってください。それでも再生されない場合は、映像ファイルが壊れている可能性があります。ファイルが壊れた場合、再生はできませんので、再生できないファイルごと削除してください。ファイルを削除できない場合は、microSDメモリーカードの必要なファイルをパソコンにバックアップ(P.31参照)した後に、フォーマットを行ってください(P.42参照)。
再生ボタンを押しても映像は再生されるが、音が出ないんですが？	音声録音を「しない」設定になっていませんか？ また、ビューアーソフトの音量設定が最小になっていませんか？設定をご確認ください（P.26参照)。またはパソコン側の音量設定が最小になっていないか、ご確認ください。 設定を変更しても音声が出ない場合、本体内蔵のマイク（集音部）が覆われるようなところに取り付けていないかご確認ください。
本体設定画面を開くと「設定ファイルを読み込めません」との警告が表示されるのですが？	本体設定画面を開く時には、本体が実際に動作していた時の設定記録ファイルをmicroSDメモリーカードから読み込みます。 ご購入直後やmicroSDメモリーカードをフォーマットした後は、このファイルが存在しません。その場合、左記警告が表示されますが問題はありません。 そのままOKボタンを押してください。
本体設定画面で設定を変更して書き込みをしましたが、設定が変更されていないようなのですが？	故障ではありません。設定変更をした後、再度、設定画面を開いても変更内容は反映されません。ただし、設定を変更するためのファイルは更新されています。 設定変更をした後、microSDメモリーカードを本体に挿入して起動させることで、設定内容は反映されます。
再生時に映像が乱れたり音声が途切れたりするのですが？	ビューアーソフトを終了させ、再度ビューアーソフトを起動して映像を再生してください。
地図の自車位置が実際とずれているんですが？	ビル街など走行する場所や、GPS衛星の状態によっては、GPSの情報が正常に受信できず、自車位置がずれることがあります。
速度が実際とずれているんですけど？	速度はGPSの情報から取得しており、ビル街など走行する場所や、GPS衛星の状態によっては、速度がずれた表示になることがあります。

質問事項	回　答
速度が異常なんですけど？	GPS 衛星の状態によっては速度が表示されない、もしくは正常に表示しない場合があります。
時々再生スピードが遅くなるようですけど？	記録時間を確保するため、記録データサイズが大きくなるとフレームレートを間引いて処理しているため遅く見えることがありますが、故障ではありません。
時々ブロックノイズが多く発生するんだけど？	山道走行など、撮影映像の変化量が多いと、ブロックノイズが多く発生することがありますが、故障ではありません。

■ 仕様

項　目	仕　様
動作温度範囲	－ 20 ～＋ 65℃ ※湿度 20 ～ 90% RH、結露なきこと
保存温度範囲	－ 30 ～＋ 85℃ ※湿度 20 ～ 90% RH、結露なきこと
電源電圧	10 ～ 16 V
消費電流	最大 1A 以下
外形寸法	横幅 55mm ×高さ 37mm ×奥行 85mm(突起部を除く)
質量	約 85 g（ケーブルを除く）
記録方法	常時記録
映像記録時間	高画質モード：約 100 分／標準モード：約 150 分／長時間モード：約 200 分（4GB の microSD メモリーカードの場合）
映像フレーム数	28 フレーム／秒
記録保護件数	G 検知：10 件／本体スイッチ操作：5 件
時計	GPS にて補正
撮影素子	1/2.7 型カラー CMOS
有効画素数	約 100 万画素
画角	水平 110°×垂直 70°
動画圧縮方式	MP4(H.264+High Profile)

■ アフターサービスについて

1. この商品には保証書を添付しております。
   保証書は販売店でお受けとりの際、必ず、「販売店名、お買い上げ日」などの記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。

2. 保証期間は、お買い上げ日から 3 年間です。

3. 調子が悪いとすぐ故障と考えがちですが、修理に出す前に本書の「■よくある質問」（P.48 参照）を、もう一度よくご覧のうえ調べてください。簡単な調整やお手入れで直ることがあります。それでも具合が悪いときは、次により修理をお申しつけください。
   ◆ 修理の受け付けは、お求めの販売店が行います。
   ◆ 保証期間中は、商品に保証書を添えてお求めの販売店にお持ち込みください。
   保証書に記載しております保証規定にもとづいて、無料で修理いたします。
   ※ 修理、点検に要する商品の脱着費用は、保証期間内においても基本的に有償となります。
   ◆ 保証期間が過ぎているときは、お客様のご希望によりまして、有料で修理をお引き受けいたしますのでお求めの販売店にお持ち込みください。

4. 出張による修理、点検は行っておりません。

5. この商品の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）は、製造打ち切り後最低 6 年間保有しております。

アフターサービスに関するお問い合わせ

販売店またはお客様相談窓口に連絡してください。

※修理のご依頼は、お求めの販売店へお願いいたします。

<お客様相談窓口>

富士通テン株式会社
「お客様相談窓口」

フリーダイヤル　0120－022210

携帯電話・PHSからもご利用になれます。

受付時間　午前10：00～12：00、午後1：00～5：00
（土・日・祝日などを除く）

製品の購入や組み合わせに関するお問い合わせ

販売店または販売会社に連絡してください。

<富士通テン販売会社>

東京本社	〒160-0023 東京都新宿区西新宿８丁目14番24号 （西新宿KFビル）	(03)5330-6244	東京、神奈川、千葉、山梨
北海道支店	〒003-0809 札幌市白石区菊水９条２丁目２番38号	(011)821-2221	北海道全域
北日本支社	〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡３丁目４番18号 （タカノボル第22ビル）	(022)256-2291	東北地区
関東支社	〒338-0004 埼玉県さいたま市中央区本町西４丁目18番１号	(048)859-2210	栃木、埼玉、群馬、茨城、新潟、長野
中部支社	〒450-0003 名古屋市中村区名駅南３丁目11番10号	(052)581-8621	中部、北陸地区
関西支社	〒663-8241 西宮市津門大塚町７番35号	(0798)36-7481	兵庫、大阪、京都、滋賀、奈良、和歌山
中国支店	〒734-0044 広島市南区西霞町２番25号	(082)255-2422	中国地区
高松事務所	〒760-0078 高松市今里町１丁目28番13号	(087)863-7020	四国地区
西日本支社	〒815-0031 福岡市南区清水４丁目４番34号	(092)511-3210	九州全域、沖縄

商品のアフターサービスに関するお問い合わせは、
お買い求めの販売店またはお客様相談窓口までお願い致します。

富士通テン株式会社
「お客様相談窓口」

フリーダイヤル　0120-022210
携帯電話・PHSからもご利用になれます。

受付時間　午前10:00～12:00、午後1:00～5:00（土･日･祝日などを除く）

お客様サポート:製品情報や適合情報、ダウンロードサービスなどがご利用になれます。
http://www.fujitsu-ten.co.jp/eclipse/support/

富士通テン株式会社

〒652-8510　神戸市兵庫区御所通1丁目2番28号
電話　神戸（078）671-5081（代表）

090002-36830700
1409MT (K)